

北陸石仏の会々報

第 6 号
平成6年5月10日発行

編集発行

北陸石仏の会(日本石仏協会北陸支部)

代表 藤村 善雄

〒939-13 富山県砺波市太田一七七〇 尾田武雄方
電話 〇七六三―三二―二七七二
振替 〇〇七四〇―二―一九七四

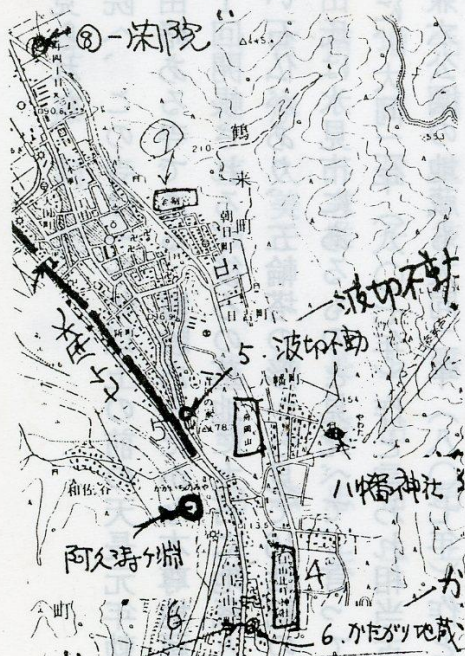
白山信仰と鶴来の石仏

藤村 善雄

鶴来は白山信仰の根拠地であり、メッカである白山比咩神社、金剣神社、本町の一閑院、今町の波切り不動、白山町のかたがり地蔵、八幡神社をこの度の例会では訪ねる。これらは添付図面に示すように現在青年の家のある船岡山の周りに点在している。

一閑院には天保年間(一六〇年前)石工文助・七右衛門兄弟が3年3ヶ月寝食を忘れて刻み上げた自然石では一番大きい8メートル近くの不動さんがあり、かつてはこのところに養老元年(一三〇〇年前)白山を開山した泰澄大師が不動さんが刻まれてあったと言われている(同寺縁起による)。

今町の波切り不動には、近くの懸崖から削りとって移した高さ3メートルの岩に線刻された不動さんがある。これは朱彩色された火焰と忿怒相のみ残すのみで下部が鮮明でないけども、泰澄大師が刻まれたと言われている。そ



の不動さんの横に3佛が3尊式に配列され、中央は阿弥陀如来、右は地藏菩薩、左は如来像と思われ、いずれも磨崖佛であったものである。

かたがり地蔵は、座っておられ台座下に6基、その右上に3つの五輪塔があり鎌倉末期(14世紀)作であろう。これは船岡山麓の岩に刻まれてあった磨崖仏を、明治31年から36年にかけて実施された七ヶ用水の取水口工事や道路工事のため切り取られ現在地に移されたものでこれも白山開基の泰澄大師作と言われており歴史的にも、威厳といい県下随一の石仏である。

八幡神社には磨崖仏をここに移した地蔵さんがあり、右手に錫杖、左手に宝珠を執り法衣を着けてた彫りに迫力を感じる。

これらの石仏は白山開基の泰澄大師作とし白山信仰と結びついているのは注目に値する。

平成六年四月二〇日

北陸石仏の会 第六回例会報告

北陸石仏の会を北国新聞に記載して貰った関係もあり、応募して来られた方が90名となる。会員を優先してバス容量を考慮して、25名をお断り、6名当日欠席で、出席60名(福井3名、富山15名、石川42名)となる。平成6年3月27日9時25分金沢駅中央出口口に集合、バスにて出発する。まず、金沢・堀川の久昌寺へ、ここは加賀二代藩主の夫人ゆかりの寺で金沢33観音霊場28番札所でもある。門柱に故中川一城画伯の独特な字で寺名が書かれてある。藩政期の処刑場が近くにあり、処刑される人達の心を鎮めるために作られたと言われている、二、一メートルの大きさで、戸室石(赤)で彫った粗削りの6地蔵に感嘆する。この他に多くの

注目すべき石造物も見られた。

次に、片町の養知院へ、この寺は一千年以上の前の天長元年勅命により創建された由緒ある寺である。霊験あらたかな本尊地藏大菩薩があり33年に1回開帳される。後ろの墓地に丸石に地藏と五輪塔を彫った珍しい石仏があり、五輪塔の形から見て16世紀のものと思われる(京田氏は氷見市にあるものと見比べて、言っておられる)。また、前に、大同二年(八〇七年)作と言われ相当古い延命地藏がある。兼六公園の地藏も大同二年(八〇七年)作と言われており、同じい年が興味がある。冷たい雨が降り始め急いでバスへ。

次いで、野町の千手院へ、ここには加賀藩直属の石工が刻んだ彫りの素晴らしい33観音、6地蔵、相当古い宝篋印塔など多くの石造仏があり皆様堪能する。

次いで、鶴来町の一閑院へ、ここには日本一大きい8メートルの不動さんがある。寺の夫人による名説教を拝聴し、不動さんのご利益に感服する。この他、六万七千字を刻んだ大法華塔や室町時代の五輪を刻んだ板碑、延命地藏(天正14年)もある。この不動さんを背景に記念写真を撮る。

次いで、白山信仰のメッカ白山比咩神社に参拝する。

白山比咩神社横の志度山荘で昼食する。ここで会員である金沢工大教授藤島秀隆氏より資料にもとづきたいへん蘊蓄ある白山信仰の話を拝聴する。また、北陸石仏の会の趣旨説明会員勧誘し、16名の申込みを受ける。此の会発足時石川県は2名が40名を超える会員となる。

次いで、波切不動へ、大きな線彫不動であり写真には撮りにくいものである。この他、3体の地藏(磨崖仏)もある。かたがり

地蔵と関連あり、白山信仰と関係を有する。

次いで、かたがり地蔵へ、これは大きく、台座下に8つの五輪塔があり鎌倉末期(14世紀)作と思われる。船岡山に刻まれてあった磨崖仏をここに移したものの。白山開基の泰澄大師と言われる県下随一の石仏に堪能する。

次いで、八幡神社へ、波切不動にある地蔵やかたがり地蔵と関係あり、磨崖仏を移したものの、風化しているけれども、彫りに迫力を感じる地蔵に感嘆する。

最後に、鶴来町(元は剣町)の由来となった白山信仰の一つ金剣神社を尋ねる。京都まで繰り出されたお神輿や義経腰掛石などを見て、金沢駅へ直行する。

予定通り15:45に金沢に到着次回の例会に出席を約束して別れる。バスのガイドさんの名説明(石仏に詳しい)に感謝して原稿を終える。

H6・3・28 藤村善雄

第6回北陸石仏の会例会参加者

○印会員

○北野正明	○北村市郎	○大久保まさ子
○大野猪策	○林貞子	○酒井和
○太田幸子	○野上英子	○田村京子
○富田幸	○小竹一夫	○亀沢和子
○埜村輝子	○斉藤善夫	○南金三
○加藤永子	○佐々木春子	○牧野きよい
○藤村善雄	○藤村外美子	○久世嘉太郎
○久世文子	○藤島秀隆	○滝本靖士
○彦坂貞次	○五十嵐一雄	○松金宏喜

北陸石仏の会新会員

富山県

○清川 諭	○清川 沙知子	○福住 みつえ
○南藤 文子	○山崎 八洲恵	堀 外喜子
広瀬 信子	上田 賢一	上田 百合子
毛利 直枝	高橋 静子	西川 忠
西川 美奈子	筆 昭子	神佐 喜久美
増田 信子	上田 信子	吉田 澄子
福田 芳子	南 外志雄	河村 照男
長原 忠夫	長原 聡子	内藤 八重子
増田 道子	宮岸 久美子	築山 恭子
亀田 静子	山田 玉枝	山下 朋子
呉橋 奈賀子	宝勝 他女	沢村 美雪

出席合計 60名

平成6年4月15日現在

新出 雅美

土合 要一

牧野 きよい

細野 恭孝

石川県

内海 静子	谷村 かよ子	大場 信一
上田 百合子	毛利 直枝	筆 昭子
神佐 喜久美	増田 信子	上田 信子
福田 芳子	南 外志雄	長原 忠夫
長原 聡子	宮岸 久美子	築山 恭子
亀田 静子	山田 玉枝	宝勝 他女
沢村 美雪		

新潟県

永原 栄一 佐藤 利夫

北陸石仏の会第七回例会案内

月 日：平成六年六月五日（日）雨天決行

時間：集合、午前九時JR富山駅北口（裏口）集合

解散、午後四時JR富山駅前

乗物：マイクロバス一、二台による。バスの出発地によって富山駅北口以前の乗車可能ですので照会下さい。

参加費：五、〇〇〇円（バス代、弁当代、入場料を含む）途中、食事処なく一、〇〇〇円ほどの弁当をバスに積み込みます。手弁当の方は参加費四、〇〇〇円となります。

日程：小豆沢（青面、観音） 9:30 ↓杉原（玄昌寺・その他） 10:00

↓上桑野（青面・道祖） 10:20 ↓小谷松ヶ淵（地蔵）大無

雁（勢至・弁天その他） 11:00 ↓野道・西忍・林（弘法・

地蔵。薬師・観音その他）昼食 13:30 ↓牧戸（地蔵・三尺

坊）↓巢之内・種蔵（龍神・大日・薬師） 14:00 ↓打保

（不動）↓塩屋（伝習館・金清神社） 15:00

参加連絡：五月二十五日（水）まで、ハガキに弁当の必要・不要を記載の上、事務局（〒939-13 砺波市太田一七七

〇、尾田 武雄方 北陸石仏の会）へお願いします。

参考（その一）：衝撃の金清神社と石棒から民具までの巨大コレクション ション伝習館が含まれます。雀躍して参加下さい。

参考（その二）：往きのJRに下記のようなものがあります。

福井
金沢
高岡
富山
富山
直江津

6:20
↓
7:47
↓
8:28
↓
8:48
8:47
↑
7:01

6:36
↓
7:51
8:10
↓
8:39
↓
8:51

〈事務局から〉

〇北陸全般にわたり、石仏に関する情報を求めています。事務局までお知らせ下さい。

〇「北陸石仏の会会報」は年四回発行する予定です。会員各位のいろいろの情報を求めています。

〇会費未納の方は早急に納めて下さい。

〇例会は会員各位の協力です。スムーズに行っていきたいと思っております。よろしくお願いします。

